



しんちゃくとしよあんない

新着図書案内

2021.10

まつさかしょうぎょうこうこうとしよかん
松阪商 業 高校図書館

いつもとは違った 2学期のスタートになっています。

今後、予定はたくさんありますが、無理せず学校生活に馴染んでいきたいですね。



『マイノリティデザイン』澤田智洋著
ライツ社、2021

コピーライターが、福祉の世界に飛び込んでやってみた、マイノリティデザインを形にするまでの奮闘記。「だれかの弱さは、だれかの強さを引き出す力だから。」(本文より)誰もが持っている弱さを強みに変えていく、自分あての企画書づくりは、ぜひ読んでほしい。



『最近、地球が暑くてクマってます。』
水野敬也/長沼直樹著、文響社、2021

シロクマと一緒に、地球温暖化について考えてみよう！タイトルはふざけていますが、内容は、国立環境研究所の職員による監修で、わかりやすく伝えてくれています。

期限のすぎている本は、いったん返却、

または延長手続きをして下さい。



しんちゃくとしよ
新着図書から

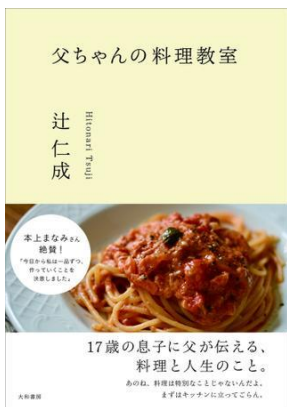


※本の表紙の画像は OpenBD より



『海のアトリエ』堀川理万子著
偕成社、2021

おばあちゃんから聞く、幼い日の、夏の思い出。海のアトリエで過ごした数日間は、今のおばあちゃんが素敵な人であることと、きつと関係している。Bunkamura ドウマゴ ぶんがくしょう ぶんがくしょう ぶんがくしょう 文学賞受賞作品の絵本です。(今年の選考委員は江國香織さん)



『父ちゃんの料理教室』辻仁成著
大和書房、2021

フランスで、シングルファザーとしてひとり息子を育ててきた著者が、息子に贈るレシピ本。ワイン片手に、人生についても語っています。移民が多く暮らす国ならではのレシピは本当に美味しそうです。

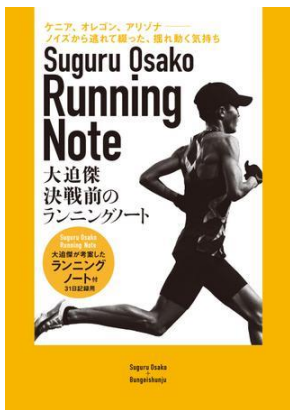


『5文字で百人一首』ずとうけんたろう著・イラスト
講談社、2021

鎌倉時代に藤原定家がえらんだ和歌の傑作選、おくらひやくにんいっしゅう小倉百人一首。この本では、最終的に今の私たちにもわかる言葉で、なんと5文字に要約しています。和歌を身近に感じることができ一冊です。



企業の依頼で描いてきた小説、紀行、エッセイを集めた一冊。ひとつが3ページほどなので、広告を読むような感覚で読むことができます。「商品をブランド化するってこういうことなのか!」と洗練された文章がイメージアップに繋がっていることがわかります。



『決戦前のランニングノート』大迫傑著
文藝春秋、2021

こうこうじだい、まいにちか高校時代、毎日書くことが決まりとなっていた練習日誌が、その後の競技人生に役立っていると話す大迫選手。この本は、オリンピック前に綴られた練習日誌です。自分の思いを文字にする大切さを感じてほしいとのこと。



『すぞすぎる天気の子』新海誠監督
荒木健太郎著、KADOKAWA、2021

映画『天気の子』(新海誠監督)で気象監修を務めた雲の研究者が書いた本です。天気についての疑問に、わかりやすく解説しています。(総ルビなのも驚きました。)



としよかんとしゅう 図書館特集コーナー

その1

<料理レシピ本大賞 in Japan>関連本

その2

学校図書館司書が選んだいちばん!貸したい本 2021

しょうろんぶんすいせんとしよ <小論文推薦図書>コーナー設置

「2021年度小論文推薦図書一覧」(Benesse)掲載図書を集めました。<学部系統別>、<テーマ別>一覧も参考にして下さい。読み物としても楽しめます。